映画会 お知らせ

こどもえいがかい
開始 10:30～
（開場 10:15）
8/10（日）
『マドレーヌといぬ』
8/17（日）
『ダンボ』
9/14（日）
『アメリカ物語』
9/21（日）
『日本の昔ばなし
人魚のごちそうほか全9話』

市民映画会
開始 14:00～
（開場 13:30）
8/10（日）
『007 ロシアより愛をこめて』
8/17（日）
『帝都物語』
9/14（日）
『さよなら子供たち』
9/21（日）
『時計』

夏休みスペシャル
こども映画会
8/3（日）14時～
『どうぶつ宝島』

おはなしのへや

おはなし会
8/2　8/16
9/6　9/20
親子おはなし会
8/22　9/26

2階おはなし会室にて
10：30～開始

CD＆DVD 特集コーナー

J-ROCK special
夏フェスのシーズン到来！
J-ROCKを聞いて音楽フェスに
出かけよう！

1F 視聴覚コーナーにて展示中

【発行】所沢市立所沢図書館所沢分館　所沢市元町27-1　☎04-2923-1243
指定管理者：株式会社ヴィアックス

図書館だより No.118（通巻）

とこぶん通信

2025
8・9

２０２５年は所沢分館が旧所沢文化会館からハーティアに移転開館して15周年となりました。

15年前の2015年(平成22年)は所沢市制60周年を記念して所沢市マスコットキャラクター「トコろん」が生まれた年でもあります。

マスコットのデザインの募集には全国から196の作品が集まり、イラストレーターの竹浪かおるさんのデザインが最優秀作品に選ばれました。

市の鳥「ひばり」とプロペラ飛行機からイメージされ、首のスカーフは狭山茶の色。トコろんは、色々なイベントで活躍し、グッズもたくさんあります。今では所沢市の人気者ですね。

≪参考文献≫
『広報ところざわ　平成22～24年度』所沢市　2014年　≪K/318/ト 10-13≫

イベントレポート

7月の展示イベント「本のまくら」

7月1日（火）～7月20日（日）

ブックカバーで本をくるみ、表紙を見えないようにした本の上に、最初の一行（まくら）だけを記した紙をつけ、展示しました。

100冊の展示からスタートし、貸出されたら、そのつど追加をしたところ、計172冊の貸出がありました。また利用者からもおすすめのまくらの本を募集しました。「面白い試みだ」「選ぶのが楽しかった」という声も多数いただき、好評の企画でした。

とこぶんからのお知らせ

今後のイベント予定

11月のイベント

① 図書館まつり　ブックリサイクル展

除籍した図書館の本や雑誌等を無料配布します。

② 「ほしぞらのたまご～所沢の星空案内～」

エアドーム型のプラネタリウムに所沢市の星空を映します。

※詳細は決まり次第、ホームページや館内ポスターでお知らせします。

『5分で読める！ひと駅ストーリー　-夏の記憶-東口編』
『このミステリーがすごい！』編集部／編　宝島社

推し本
とこぶんスタッフ選

『5分で読める！ひと駅ストーリー -夏の記憶-東口編』

『このミステリーがすごい！』編集部／編
宝島社　2013年

タイトル通り5分以内で読めるショートショート・アンソロジーです。ひと駅の間で読めるので通勤や通学など、電車を利用するときにぜひ読んでいただきたい作品です。

なかでも一押しは『猫切り』森川楓子/著です。沖田総司が晩年、猫を追いかけまわしたが切ることができなかった、という逸話からくる猫の物語です。ひと駅シリーズで多数出版されており、『-夏の記憶-西口編』と合わせて、この夏のお出かけにいかがでしょうか？

『ババヤガの夜』

王谷晶／著　河出書房新社　2023年

暴力を唯一の趣味とする新道依子。仕事の途中でチンピラ相手に喧嘩をしていたところ、その腕っぷしを買われ、暴力団の会長の一人娘尚子の運転手兼護衛役を無理やり任せられることに。気が合わなかったが、日々を重ねるうちに心を通わせるようになる二人。しかし、依子が、街中で尚子の手をつかむある男を殴ったことから、事態は思いもよらない展開に。

7月に、日本人初のダガー賞（世界最高峰のミステリー文学賞）を受賞した作品です。容赦ない暴力描写から始まりますが、そこからは想像もつかない切ない結末。ミステリーでもあるので、巧みな仕掛けもあり、何度も読み返したくなる作品です。

『ババヤガの夜』
王谷晶／著　河出書房新社